

登録コード	E4521901	開講年度	2026				
授業科目	特別活動の理論と方法 B					担当教員	越智 康詞
英文授業名	Theory and Method of Special Activities B					副担当	
単位数	1	講義期間	後期(前半)	曜日・時限	木曜・2時限	対象学生	
講義室	教育図書2階講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	「キャリア教育と進路指導A」と両方の受講が可能(授業が重ならないようになっている)。
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				人権の意味を深いレベルで理解するとともに、学校や教師の行動がいかに子どもの成長や幸福に影響しているかの自覚をもって適切に学校（学級）運営できるようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				学校（学級）の構造や活動が、子ども同士の関係やポジティブな自己認識、市民性の育成といかに結びついているのかを深く理解し、学校（学級）の活動や組織を工夫しながら、子ども主体の活動（共同生活）を導くことができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本講義では、単に特別活動の目標や実践方法（マニュアル）の紹介にとどまるのではなく、教育学の諸理論、学校の組織特性、現代社会の子どもの事実などと関連させながら、特別活動という実践＝カリキュラムを自ら創造していくために不可欠な基礎を学ぶ。その際、導きの糸となるのは、「民主主義の実現を目指した問題解決活動を通して、民主主義社会の一員にふさわしい倫理・実践能力を身に付ける」というデュイ的な視点である。共に問題を解決し、開かれた学級を創造する実践が、まさに学びのプロセスでもある、という相互循環的なプロセスを念頭に置きながら、教育現場の諸問題に応答し、状況に応じたプランを構想し、自らの実践を批判的に振り返る力を養うことが、本講義のねらいである。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス（特別活動とは何か。学習指導要領解説） 第2回：学校・学級の構造特性と特別活動（いじめ、学級づくり） 第3回：特別活動と市民教育（民主主義、学級） 第4回：児童・生徒理解（子どもの特性、問題行動の背景） 第5回：特別活動プランニング（オリジナルプランの作成） 第6回：特別活動構想発表（全体構想又は指導案の作成とその発表） 第7回：リフレクション・授業アンケート ＊教育実習で欠席の場合は、補講又は代替課題の提出を行う。						
(6)成績評価の方法	平常点3割、レポート（報告等も含む）7割 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	レポートにおいては、（１）課題設定が適切であり、（２）問題の背景を説明し、（３）問題の構造を適切に捉えられており、（４）解決の方法を示唆し、（５）残された課題も明示されていれば、卓越している。2項目以上できれば水準にある。3項目できていればやや上にある。4項目できていればかなり上にある。試験においては、基本的事項を最低限理解していれば水準にある。応用問題まで理解していればやや上にある。自らの問題意識と結びつけ、自分の考えをも同時に展開していればかなり上にある。自らの問題意識に結びつけ、自らの考えについて説得的に論証できていれば卓越している。試験においては、基本的事項を最低限理解していれば水準にある。基礎的事項を全体的な意義と関連させ、体系的に理解していればやや上にある。講義で取り扱った事項について、自らの経験や問題意識と結びつけ、自分の考えを同時に展開していればかなり上にある。自らの考えを、他の事実や経験などと結びつけながら説得的に論証できていれば卓越している。						
(8)事前事後学習の内容	毎回の「授業」において、講義で扱ったテーマについて、関連する文献を読んだり、様々な事例について自ら調べ、考えを深めておく。講義の後半で、特別活動のプランを発表してもらおう。グループでの発表となるが、個人で準備し、グループで話し合い、報告するまで時間をかけて取り組んでください。（この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります）。						
(9)履修上の注意	他の受講生の学びを妨げる行為を厳に慎むこと。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・オフィスアワーの実施場所：N313, 曜日・時間（在室の時はいつでも）, 授業担当者の連絡先（研究室電話番号026-238-4218, メールアドレス：yasushi@shinshu-u.ac.jp）						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考文献】	小学校学習指導要領, 中学校学習指導要領, 高等学校学習指導要領 小学校学習指導要領解説：特別活動 中学校学習指導要領解説：特別活動 高等学校学習指導要領解説：特別活動 ジェーン・ネルセン他『クラス会議で子どもが変わる』コスモス・ライブラリー, 1800円 加野芳正編 「マナーと作法の社会学」東信堂 2400円						